## ■実績一覧(啓発研修 地方研修)令和6年度(実施順)

No	月日	都道 府県	場所等	テーマ	計	講 師
1	令和6年7月2日	香川県	香川県 社会福祉総 合センター コミュニ ティホール	避難所における課題について -イタリアの避難所との比較 -	榛沢和彦	新潟大学 医歯学総合 研究科 特任教授
				南海トラフ巨大地震にどのように備えるか?-能登半島地 震の教訓から学び、対策する -	金田義行	香川大学 四国危機管 理教育・研究・地域 連携推進機構 特任教 授
2	7月20日	福井県	福井県 国際交流会 館	豪雨災害の脅威にどう向き合 うべきか	大原美穂	東京大学 教授
				福井豪雨から20年 〜自然災害に備えるために〜	森隆志	気象庁長官
3	9月3日	鹿児島県	かごしま県 民交流セン ター県民 ホール	災害に備えるための平時の取 組について	原田一世	N P O 法人フードバ ンクかごしま 代表理事
				事前防災における自助・共 助・公助の役割と防災まちづ くり	金藤純子	株式会社EnPal 代表取締役
4	9月5日	青森県	県民福祉 プラザ 3階 県民ホール	生き残る防災、生き続けられる防災 ~はじめよう!「じぶんごと」防災、育てよう!「みんなごと」防災~	立岡伸章	弘前医療福祉大学短 期大学部救急救命学 科 学科長・教授 (兼) 地域安全防災 研究所長
					小山内世喜子	(一社) 男女共同参画 地域みらいねっと 代表理事
5	9月7日	島根県	吉賀町 ふれあい会 館	気象情報はなぜ生まれ、何を 訴えているのか	笠井将伸	松江地方気象台長
				県民ができる災害対策	大西賞典	加古川グリーンシ ティ防災会 特別顧問
6	10月28日	山形県	山形国際交 流プラザ	水害への備え〜避難スイッチ とおせっかい避難〜	山崎水紀夫	さんすい防災研究所
				知っておきたい 命を守るた めの防災気象情報	兵頭哲二	気象防災アドバイ ザー
7	11月6日	佐賀県	佐賀県 神埼市中央 公民館	災害時の避難について考える 〜地域の防災力が命を守る! 〜	板井幸則	大分大学復旧・復興 デザイン教育研究セ ンター 客員教授

No	月日	都道 府県	場所等	テーマ	<b>=</b>	<b>斯</b>
8	11月17日	鳥取県	鳥取県中部 総合事務所 講堂(倉吉 市東巌城 町)	巨大災害の時代に向き合う 〜能登半島地震に学ぶ〜	室﨑益輝	神戸大学 名誉教授
				能登半島地震の「液状化」を 考える	藤村尚	鳥取大学 名誉教授
9	12月7日	富山県	富山県 防災危機管 理センター 3階研修室	富山県の天気と天気予報を活 用した防災	饒村曜	気象予報士・減災コ ンサルタント
				富山で想定される大地震と津波の特徴、備えについて	古村孝志	東京大学地震研究所 所長
10	令和7年1月9日	沖縄県	沖縄県自治 研修所	楽しく防災活動をやろう〜コ ミュニティが生み出す防災力 〜	大西賞典	加古川グリーンシ ティ防災会 特別顧問
11	1月17日	宮崎県	日向市立富 島中学校・ 中央公民館 ホール	市民がつくる災害に強いまち 『日向の未来を守る防災のチ カラ』 一人ひとりが主役!守 る防災の輪	若井聡智	国立病院機構本部 DMAT事務局 次長
					三木大輔	大阪市消防局
12	1月25日	石川県	地場産業振 興センター 本館大ホー ル(金沢 市)	国民保護にも期待されている 自治体と県民の役割	川島佑介	茨城大学人文社会科 学部 准教授
				明日へ一歩すすめる防災対策 一まずは自助の体制を見直し	木村玲欧	兵庫県立大学環境人 間学部 教授
13	2月1日	愛知県	イオンモー ル常滑2F イオンホー ル	間違いだらけの防災対策 〜常滑周辺の災害リスクを自 分で調べつつ 死なない準備をする3つのポ イント〜	高荷智也	合同会社ソナエル ワークス 備え・防 災アドバイザ-
14	2月4日	北海道	北海道庁地 下1階 危 機管理セン ター	自主防災組織結成のために必要なこと〜来るべき災害に備える〜自助・共助・公助の役割〜	大西賞典	加古川グリーンシ ティ防災会 特別顧問
				宮の沢町内会の防災活動とは 人との出会い/幸運	中川和彦	宮の沢町内会長、地 域防災マスター
15	2月5日	千葉県	千葉県危機 管理政策課 (オンライ ン)	学校防災と地域防災の融合が 社会にもたらすこと	佐藤健	東北大学災害科学国際研究所 防災教育 実践学分野 教授